

令和6年度 介護保険事業者における 事故報告集計・分析について

さいたま市福祉局
長寿応援部介護保険課

事故報告の集計・分析について

■集計期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

■集計対象

さいたま市電子申請・届出サービスにより報告されたもの

■事故報告対象

「さいたま市介護保険事業者等における事故発生時の報告取扱指針」で
報告対象としている事業所

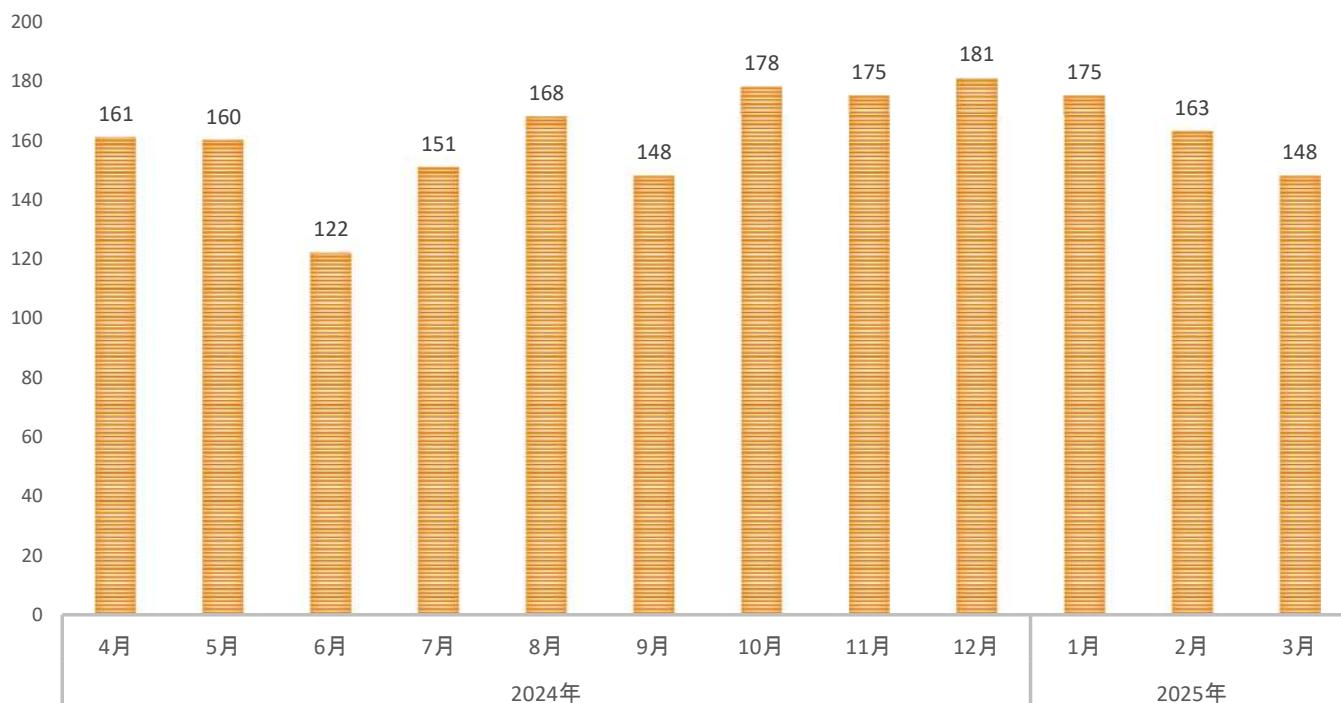
事故発生件数

年度	件数
令和4年度	1,569
令和5年度	1,873
令和6年度	1,930

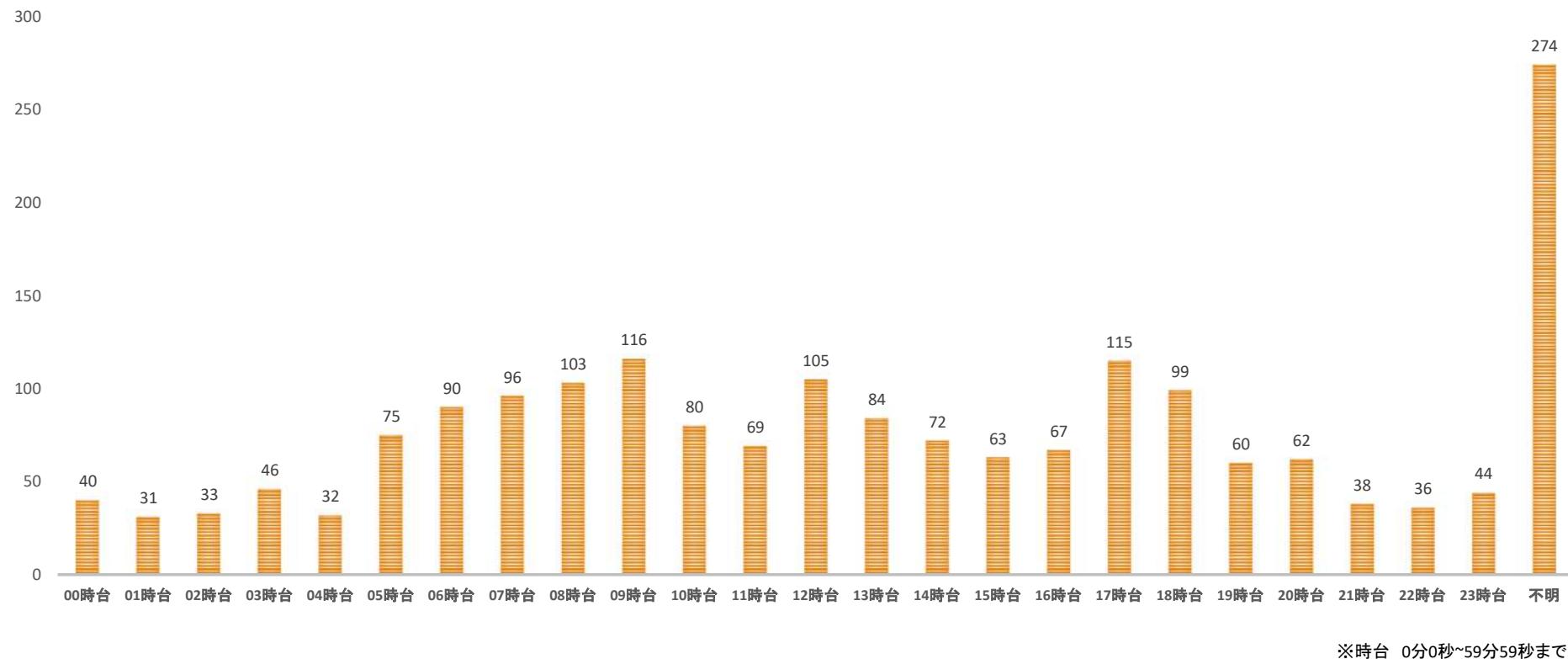
- ・令和6年度の事故発生件数は合計1,930件でした。
- ・令和4年度1,569件、令和5年度1,873件であったことから事故発生件数が増加しています。

事故発生月

発生月	件数	構成比
4月	161	8.3%
5月	160	8.3%
6月	122	6.3%
7月	151	7.8%
8月	168	8.7%
9月	148	7.7%
10月	178	9.2%
11月	175	9.1%
12月	181	9.4%
1月	175	9.1%
2月	163	8.4%
3月	148	7.7%
総計	1,930	100.0%

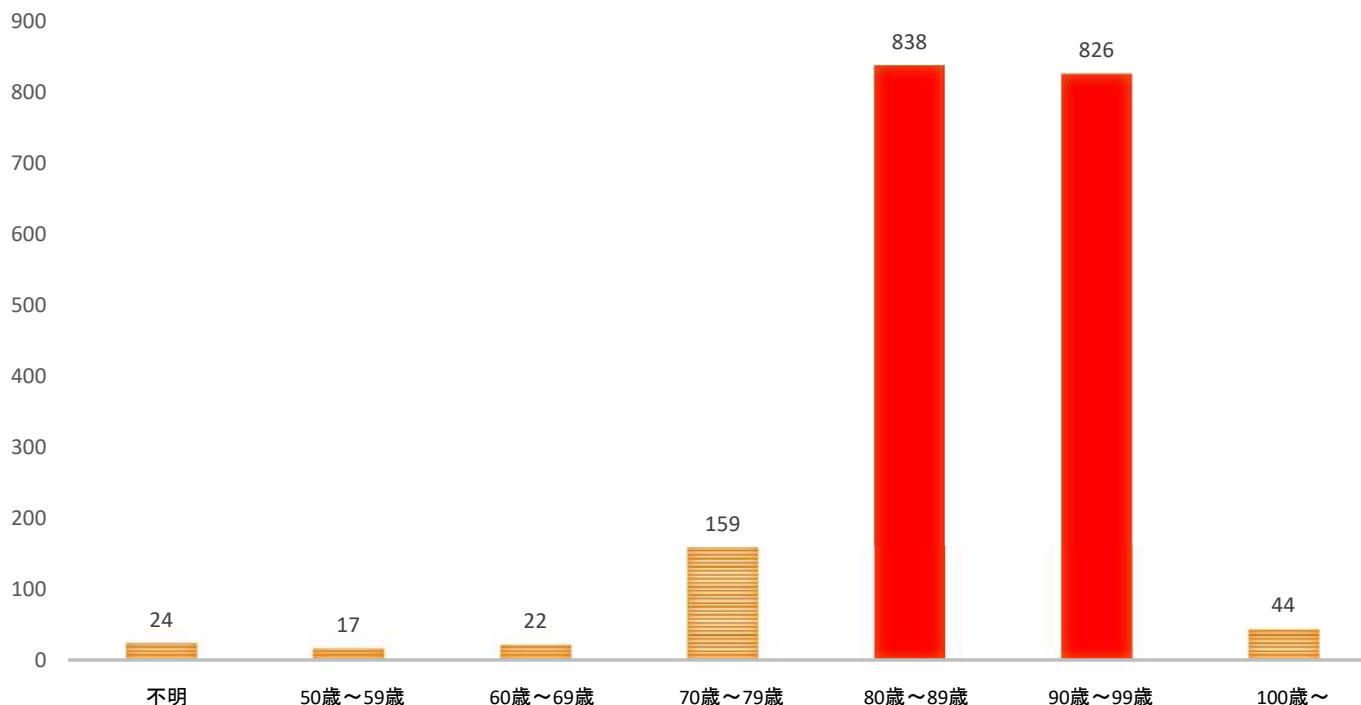


事故発生時間帯



年齢

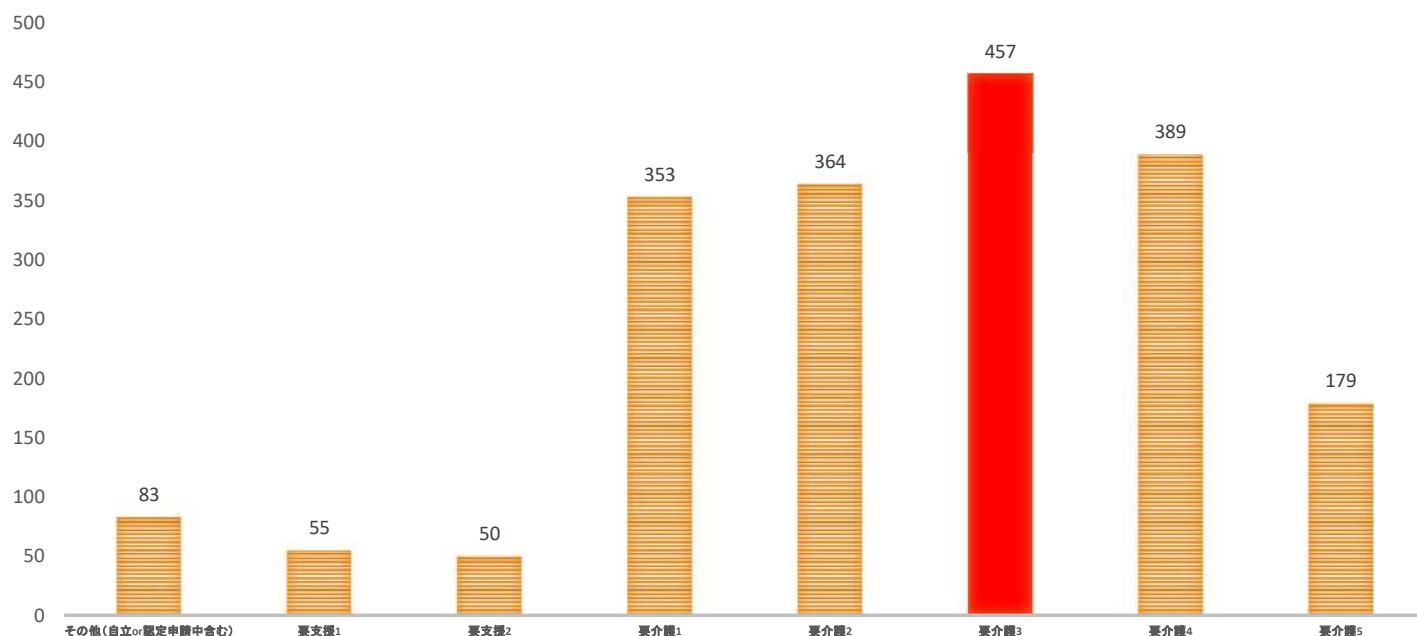
年齢	件数	構成比
不明	24	1.2%
50歳～59歳	17	0.9%
60歳～69歳	22	1.1%
70歳～79歳	159	8.2%
80歳～89歳	838	43.4%
90歳～99歳	826	42.8%
100歳～	44	2.3%
総計	1,930	100.0%



80歳台～90歳台の事故が86%と大半を占めています。

要介護度

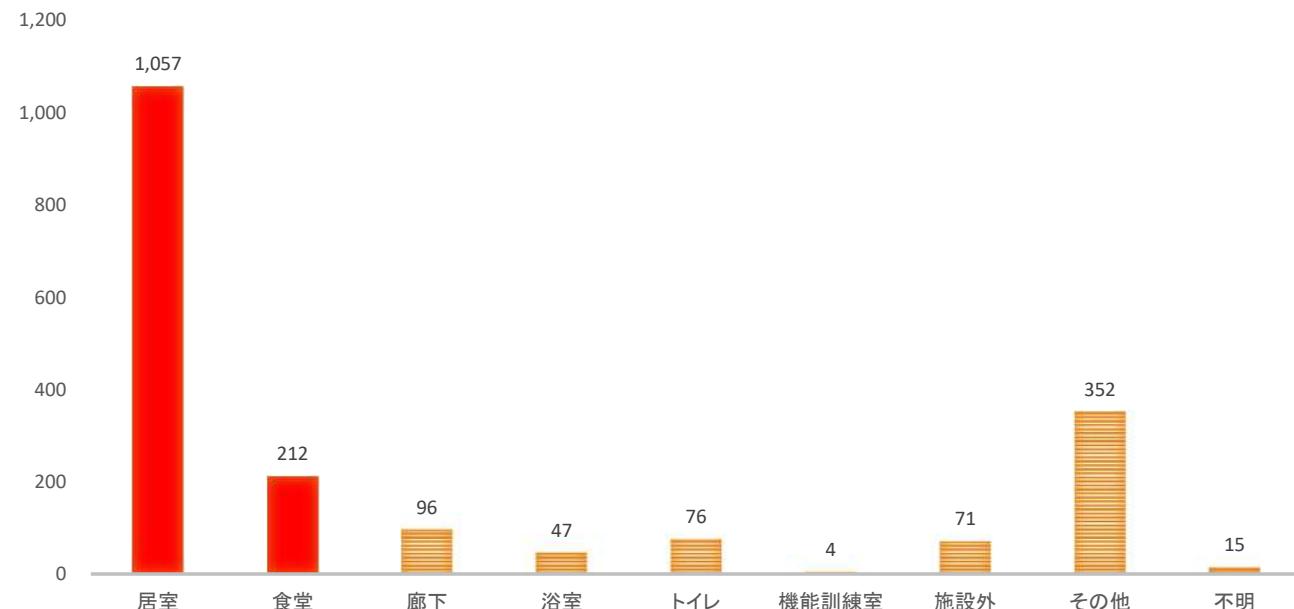
要介護度	件数	構成比	参考 さいたま市 被保険者 認定構成比 ≈1
その他 (自立or認定申請中含む)	83	4.3%	
要支援1	55	2.8%	14.35%
要支援2	50	2.6%	12.41%
要介護1	353	18.3%	23.06%
要介護2	364	18.9%	16.90%
要介護3	457	23.7%	14.05%
要介護4	389	20.2%	11.94%
要介護5	179	9.3%	7.29%
総計	1,930	100%	100%



要介護3が457件(全体構成比23.7%)と最多です。さいたま市被保険者認定構成比において要介護3が14.05%であることと比較しても多い傾向にあります(※1 令和6年度介護保険事業状況報告(9月末時点)より)。

事故発生場所

事故発生場所	件数	構成比
居室	1,057	54.8%
食堂	212	11.0%
廊下	96	5.0%
浴室	47	2.4%
トイレ	76	3.9%
機能訓練室	4	0.2%
施設外	71	3.7%
その他	352	18.2%
不明	15	0.8%
総計	1,930	100.0%



居室での事故が半数以上を占めています。

食堂での事故が212件となっており、前年の184件から28件増加しています。

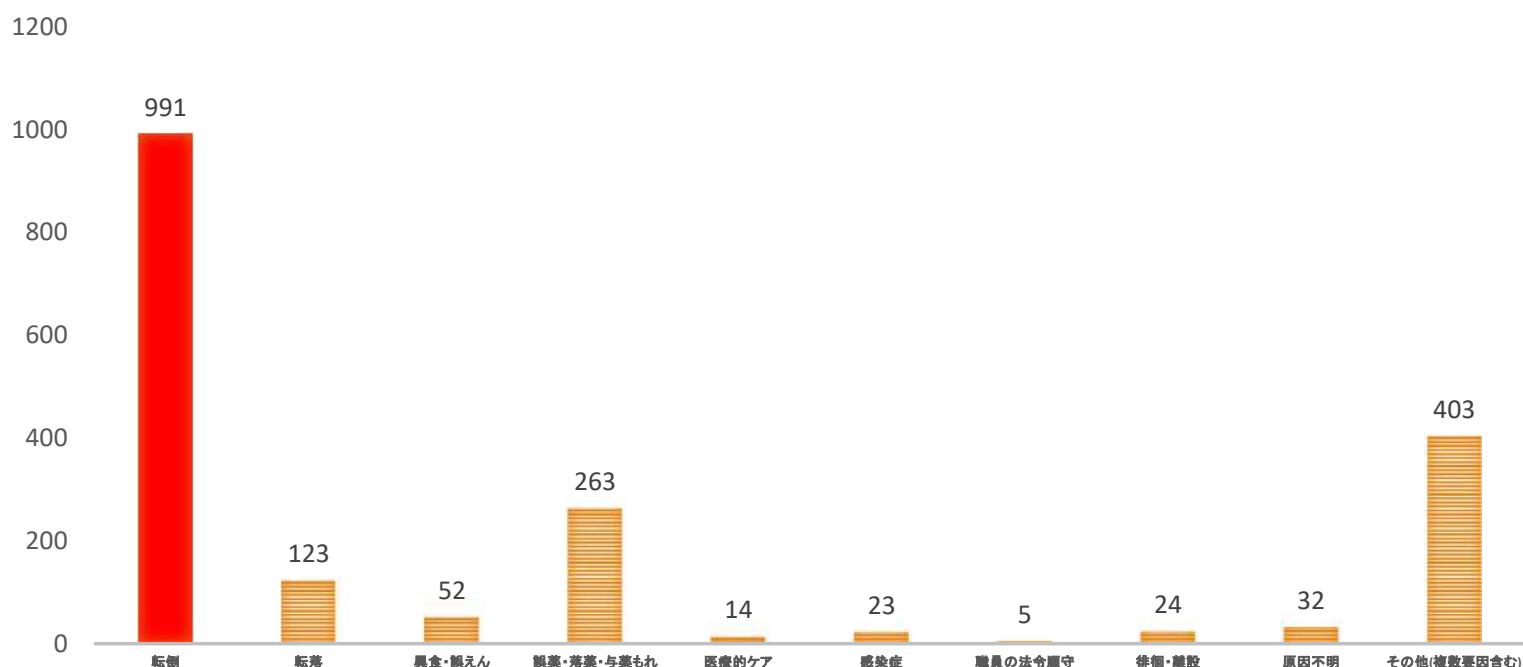
要介護度 × 事故発生場所

要介護度／事故発生場所	居室	食堂	廊下	浴室	トイレ	機能訓練室	施設外	その他	不明	総計
要支援1	33	5	1	2	2		3	9		55
要支援2	32	4	1	2			3	8		50
その他 (自立or認定申請中含む)	40	7	3	5	3		7	17	1	83
要介護1	195	34	15	8	10	3	20	66	2	353
要介護2	198	47	19	4	14	1	8	73		364
要介護3	248	42	28	7	27		13	90	2	457
要介護4	213	49	22	7	17		14	63	4	389
要介護5	98	24	7	12	3		3	26	6	179
総計	1,057	212	96	47	76	4	71	352	15	1,930

浴室での事故について、要介護5が最多です。令和5年度も同様の傾向が出ており注意が必要です。

事故の種別

事故の種別	件数	構成比
転倒	991	51.3%
転落	123	6.4%
異食・誤えん	52	2.7%
誤薬・落薬・与薬もれ	263	13.6%
医療的ケア	14	0.7%
感染症	23	1.2%
職員の法令順守	5	0.3%
徘徊・離設	24	1.2%
原因不明	32	1.7%
その他(複数要因含む)	403	20.9%
総計	1,930	100.0%

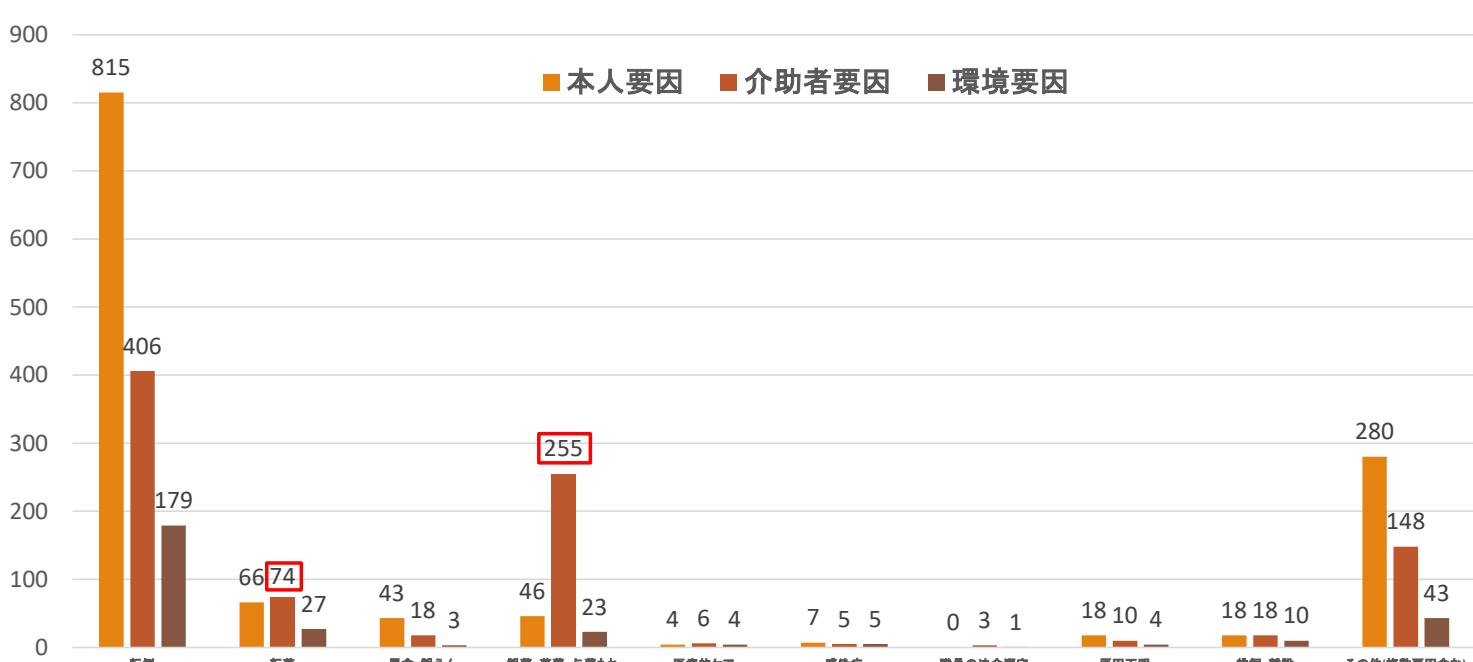


転倒事故が半数以上を占めています。

事故の種別 × 事故の要因

事故の種別	本人要因	介助者要因	環境要因
転倒	815	406	179
転落	66	74	27
異食・誤えん	43	18	3
誤薬・落薬・与薬もれ	46	255	23
医療的ケア	4	6	4
感染症	7	5	5
職員の法令順守	0	3	1
原因不明	18	10	4
徘徊・離設	18	18	10
その他(複数要因含む)	280	148	43
総計	1,297	943	299

※事故の要因については、複数回答可



介助者要因が顕著なのは、誤薬・落薬・与薬もれ及び転落であり、介助の際に注意が必要です。